

県産のサメ軟骨、ガマズミ、熟成ニンニク

# 健康食品「地サプリ」開発



「地サプリ」の共通ブランドで発売される左から「サメ軟骨」「ガマズミの実」「琥珀にんにく」

## 県内3社 全国に発売へ

県内の食品事業者3社が、本県近海で捕れるアブラツノサメの軟骨、三戸地方で親しまれているガマズミ、低温熟成したニンニクを原料にサプリメント（健康食品）を開発、「地サプリ」の共通ブランドで15日から、全国発売する。地域商品では「地ビール」「地サイダー」などが知られるが「地サプリ」は、他に例がないとして、販売事業者が商標登録を申請している。

発売されるのは田向商店（青森市）の「サメ軟骨」、小野寺醸造元（三戸町）の「ガマズミの実」、田子かわむらアグリサービス（田子町）の「琥珀（こはく）にんにく」の3品。パッケージデザインを川村デザイン（弘前市）が担当し、インターネット通販を展開する「かめあし」（同）が中心となり販売する。県観光物産館アスパムなどの物産店やコンビニ、ドラッグストアなどでの店頭販売も拡大する方針という。「地サプリ」は医療・健康福祉分野で新たな産業づくりを目指す県の「あおもりウェルネスランド構想」に基づく産学官、農商工の連携事業として、県や21あおもり産業総合支援センターが事業化を後押しした。「サメ軟骨」はコンドイチンやコラーゲン、「ガマズミの実」はポリフェノール、「琥珀にんにく」はS-アシルシステインなど、健康に良いとされる成分が豊富に含まれている。

価格（税込み）は3品とも50粒入り126

0円、150粒入り3150円、300粒入り6300円。それぞれ年間約2千万円の販売を目指す。問い合わせは、かめあし（電話0172-3190）へ。

H21年7月10日  
東奥日報